



## 2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 株式会社 フジオフードシステム  
 コード番号 2752 URL <http://www.fujio-food.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 仁田 英策

TEL 06-6360-0306

四半期報告書提出予定日 2019年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	9,450	6.0	538	20.1	527	20.4	255	28.8
2018年12月期第1四半期	8,917	1.3	674	7.5	663	11.7	358	7.3

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 384百万円 (3.3%) 2018年12月期第1四半期 371百万円 (15.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	11.89	11.82
2018年12月期第1四半期	16.72	16.62

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	25,386	9,387	36.9	436.70
2018年12月期	21,759	9,465	43.4	440.38

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 9,376百万円 2018年12月期 9,452百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		22.00	22.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 2018年12月期 期末配当金の内訳: 普通配当 20円00銭 東証第一部上場記念配当 2円00銭

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,174	9.5	1,043	11.4	1,028	11.6	471	20.9	21.98
通期	40,100	10.9	2,500	10.7	2,420	10.5	1,185	29.9	55.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期1Q	22,173,730 株	2018年12月期	22,166,130 株
-------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2019年12月期1Q	701,616 株	2018年12月期	701,616 株
-------------	-----------	-----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年12月期1Q	21,465,790 株	2018年12月期1Q	21,445,280 株
-------------	--------------	-------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益、所得・雇用情勢の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移したものの、米国政権の保護主義的な通商政策による貿易摩擦の長期化や中国の景気減速など、世界経済は不確実性を増し、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、人件費の上昇や企業間競争の激化、また、材料価格の高騰など、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、既存事業の全体的な底上げを行うための商品開発、業態ごとの販売促進キャンペーン活動の強化、店舗におけるサービス力向上を図るための教育・研修体制の強化等、様々な施策を行ってまいりました。

さらには、不採算店舗改善の施策としての業態変更の実施や積極的な新規出店により売上高、売上総利益は伸長いたしました。

一方、出店数の増加に比例して、人件費及び地代家賃、水道光熱費等が増加したため、販売費及び一般管理費が前年同期比9.4%増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高94億50百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益5億38百万円（前年同期比20.1%減）、経常利益5億27百万円（前年同期比20.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億55百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <直営事業>

直営事業におきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」、「つるまる」等の事業展開を行っております。

当事業におきましては、「まいどおおきに食堂」を中心に全ブランドの既存店の業績改善のための営業努力を行っており、商品力強化のためのメニュー改善、積極的な販促企画キャンペーンの実施、店舗改装などを行ってまいりました。

また、既存主要ブランドの拡大や、既存サブブランドである「さち福や」、「えびのや」、「かつ満」などの新規出店にも注力してまいりました。

以上の結果、直営事業全体の売上高は89億67百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は8億40百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

#### <FC事業>

FC事業につきましては、当社トレーナーが各加盟店に臨店して行う調理指導の他、店長会議、トレーナー会議等を通じて直営店における成功事例・問題点の共有を進めることにより更なる集客力の向上を図っております。今後も加盟企業との親密なコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、継続的な収益力の向上を目指してまいります。

以上の結果、FC事業全体の売上高は4億82百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は3億42百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

当社グループの2019年3月末時点の店舗数は883店舗（直営店（国内）521店舗、直営店（海外）5店舗、FC店（国内）354店舗、FC店（海外）3店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 (国内)	直営店 (海外)	FC店 (国内)	FC店 (海外)	合計
まいどおおきに食堂	141	5	272	-	418
神楽食堂 串家物語	87	-	26	-	113
手作り居酒屋 かつぼうぎ	36	-	8	-	44
つるまる	51	-	7	3	61
その他	206	-	41	-	247
合計	521	5	354	3	883

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は36億26百万円増加し、253億86百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から29億53百万円増加し、固定資産は6億72百万円増加しております。流動資産が増加した主な理由は、借入の実行に伴う現金及び預金の増加29億85百万円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は新規出店に伴う有形固定資産の増加4億55百万円、投資その他の資産の内、投資有価証券の増加1億8百万円、関係会社株式の増加29百万円、敷金及び保証金の増加34百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して37億3百万円増加し、159億98百万円となりました。これは主に借入の実行による借入金の増加35億85百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払い等により、93億87百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予測につきましては、2019年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,921	4,907
売掛金	364	359
たな卸資産	206	173
前払費用	401	381
預け金	1,314	1,363
その他	194	172
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,403	7,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,847	15,319
減価償却累計額	△6,548	△6,714
減損損失累計額	△884	△885
建物及び構築物（純額）	7,414	7,719
工具、器具及び備品	5,180	5,320
減価償却累計額	△4,028	△4,138
減損損失累計額	△165	△167
工具、器具及び備品（純額）	985	1,014
土地	1,411	1,411
建設仮勘定	210	317
その他	277	295
減価償却累計額	△241	△244
その他（純額）	36	50
有形固定資産合計	10,057	10,512
無形固定資産		
投資その他の資産	148	145
投資有価証券	1,041	1,150
関係会社株式	605	635
繰延税金資産	537	482
敷金及び保証金	4,146	4,180
その他	833	943
貸倒引当金	△14	△22
投資その他の資産合計	7,149	7,369
固定資産合計	17,355	18,028
資産合計	21,759	25,386

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,559	1,570
未払金	1,649	1,670
未払費用	512	518
未払法人税等	285	210
未払消費税等	125	210
短期借入金	100	200
1年内返済予定の長期借入金	2,045	2,540
賞与引当金	66	25
株主優待引当金	91	81
資産除去債務	2	4
その他	118	200
流動負債合計	6,556	7,233
固定負債		
長期借入金	4,369	7,359
リース債務	25	36
繰延税金負債	32	32
預り保証金	300	301
資産除去債務	1,010	1,034
固定負債合計	5,738	8,764
負債合計	12,294	15,998
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,135	2,141
資本剰余金	2,017	2,023
利益剰余金	6,283	6,066
自己株式	△876	△876
株主資本合計	9,560	9,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△110	13
為替換算調整勘定	2	7
その他の包括利益累計額合計	△108	20
新株予約権	12	11
純資産合計	9,465	9,387
負債純資産合計	21,759	25,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	8,917	9,450
売上原価	3,173	3,363
売上総利益	5,743	6,086
販売費及び一般管理費	5,068	5,547
営業利益	674	538
営業外収益		
受取利息	0	1
賃貸収入	9	9
その他	9	7
営業外収益合計	20	18
営業外費用		
支払利息	10	9
賃貸収入原価	6	7
持分法による投資損失	10	0
貸倒引当金繰入額	-	7
その他	3	4
営業外費用合計	31	29
経常利益	663	527
特別利益		
受取保険金	-	10
固定資産売却益	2	-
特別利益合計	2	10
特別損失		
店舗解約損	15	8
固定資産除却損	2	14
減損損失	64	30
投資有価証券評価損	35	70
特別損失合計	117	123
税金等調整前四半期純利益	547	414
法人税等	189	159
四半期純利益	358	255
親会社株主に帰属する四半期純利益	358	255



（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年1月1日 至 2018年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）
四半期純利益	358	255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	124
為替換算調整勘定	△4	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	0
その他の包括利益合計	13	129
四半期包括利益	371	384
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	371	384

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,452	464	8,917	-	8,917
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	8,452	464	8,917	-	8,917
セグメント利益	956	319	1,276	△601	674

(注) 1. セグメント利益の調整額△601百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、直営事業について閉店の意思決定による64百万円の減損損失を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,967	482	9,450	-	9,450
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	8,967	482	9,450	-	9,450
セグメント利益	840	342	1,182	△644	538

(注) 1. セグメント利益の調整額△644百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、直営事業について閉店の意思決定による30百万円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

(株式取得による企業結合)

当社は、2019年2月22日の取締役会において、株式会社グレートイースタンの株式を取得し、子会社化することについて決議し、2019年2月27日に契約を締結いたしました。当該株式譲渡契約に基づき、2019年4月3日に同社の株式の100%を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社グレートイースタン
事業の内容	ステーキレストラン「SAM'S (サムズ)」8店舗の運営

(2) 企業結合を行った主な理由

当社において、既存ブランドの「串家物語」等と同価格帯の強化ができると同時に、ステーキハウスという新規業態を受け入れることで、幅広い顧客層を取り込むことができると考えております。

(3) 企業結合日

2019年4月3日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

結合後の企業の名称に変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式取得により議決権の100%を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	2,694百万円
取得原価		2,694百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	69百万円
-----------	-------

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定していません。